

全国月間火山概況

口永良部島では、GPS による地殻変動観測で新岳火口浅部の膨張を示す変化が認められなくなったことなどから、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められなくなったと判断して、8月4日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（平常）に引き下げ、噴火警報を解除しました。

その他の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報警報事項に変更はありませんでした。

9月8日現在の各火山の噴火警報及び噴火予報等の発表状況は表1のとおりです。

表1 9月8日現在の噴火警報及び噴火予報等の発表状況

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3 （入山規制）	桜島
	レベル2 （火口周辺規制）	浅間山、三宅島、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島
噴火警報及び火山現象に関する海上警報	周辺海域警戒	福徳岡ノ場
噴火予報	レベル1（平常）	雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、岩手山、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、草津白根山、御嶽山、富士山、箱根山、伊豆大島、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（新燃岳）、霧島山（御鉢）、口永良部島
	平常	知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌプリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、倶多楽、羊蹄山、ニセコ、恵山、渡島大島、恐山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳、高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、新湯焼山、妙高山、弥陀ヶ原、焼岳、アカンダナ山、乗鞍岳、白山、伊豆東部火山群、利島、新島、神津島、御蔵島、八丈島、青ヶ島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、西之島、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福徳堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄鳥島、西表島北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

（火山の順は活火山総覧（第3版）による）



図1 噴火警報発表中の火山

【各火山の活動状況及び予報警報事項】

全国の主な火山の活動状況及び予報警報事項は以下のとおりです。その他の火山については、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

樽前山 【噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)】

9月2日早朝、別々川(山頂溶岩ドームの南南東約12km)に設置している遠望カメラで、A火口の西側にこれまで認められていない噴気が確認されました。同日午後に現地調査を行ったところ、従来からごく弱い噴気と変色が見られていたドーム南東亀裂の東縁及び同亀裂延長上(A火口の西側)に新たな噴気孔を確認しました。

A火口、B噴気孔群、E火口の噴煙活動及び地震活動に特段の変化はなく、GPS及び傾斜計による地殻変動観測では火山活動によると考えられる変化は認められていません。

樽前山では、今後これらの活動が高まった場合には、火口原内への噴出等の現象が発生する可能性があるため注意が必要です。

秋田駒ヶ岳 【噴火予報(平常)】

27日、女岳東北東斜面に植生が枯死している領域が存在するとの情報が寄せられました。28日に現地調査を行ったところ、長径約12m、短径約5mの楕円状の範囲で植生の枯死域が確認され、ごく弱い噴気が認められました。また、赤外熱映像装置による観測では、枯死域のほか、その上部斜面でも地熱の高まりが認められました。

9月3日に岩手県の協力により実施した上空からの観測では、28日に確認された枯死域及びその上部斜面の地熱の高まりに変化は認められませんでした。また、従来から認められている女岳山頂北部の地熱域の地表面温度分布にも特段の変化はありませんでした。

地震活動は少ない状態で推移しています。

浅間山 【火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)】

山頂火口からの噴煙量は4月以降大きな変化はなく、噴煙高度は火口縁上100～300mで推移しました。

火山性地震及び火山性微動はやや多い状態が続いています。

山体周辺の GPS 連続観測では、昨年 7 月初め頃からみられていた深部へのマグマの注入を示す伸びの傾向は、今年 7 月頃から鈍化しています。

浅間山では、今後も山頂火口から概ね 2 km の範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性がありますので、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。また、風下側では、降灰および風の影響を受ける小さな噴石に注意が必要です。また、火山ガス放出量の多い状態が続いていますので、風下側にあたる登山道等では、火山ガスに注意が必要です。

三宅島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)]

26 日に実施した現地調査では、二酸化硫黄放出量は一日あたり 1,400 ~ 2,200 トンで、前期間(2008 年 7 月、一日あたり 800 ~ 1,900 トン)と同様、依然として多量の火山ガス放出が続いています。また、三宅村の火山ガス濃度観測によると、山麓でたびたび高濃度の二酸化硫黄が観測されています。噴煙高度は火口縁上概ね 200m で推移しました。

山頂火口直下を震源とする火山性地震は増減を繰り返しながらやや多い状態が続いています。

地磁気連続観測では、火山体内部の熱の状況に大きな変化はありませんでした。

GPS 連続観測では、山体浅部の収縮がわずかながら継続しています。

三宅島では、山頂火口周辺(雄山環状線内側)に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるので、山頂火口周辺では噴火に対する警戒が必要です。また、火山ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可能性があるとして予想される地域火山ガスに対する警戒が必要です。降雨時には泥流にも注意が必要です。

硫黄島 [火口周辺警報(火口周辺危険)]

独立行政法人防災科学技術研究所の観測によると、地震活動は落ち着いた状態で経過しています。また、国土地理院の観測によると、2006 年 8 月以降みられている島全体が隆起する地殻変動は、2009 年 5 月中旬頃から隆起の傾向が鈍化しています。

硫黄島では、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では警戒が必要です。

福德岡ノ場 [噴火警報(周辺海域警戒) 及び火山現象に関する海上警報]

今期間、観測は行われませんでした。これまでの海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部及び海上自衛隊による上空からの観測でも、福德岡ノ場付近の海面に、火山活動によるとみられる変色水が確認されています。

福德岡ノ場では小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では警戒が必要です。

阿蘇山 [噴火予報(噴火警戒レベル 1、平常)]

夜間に行った現地調査で、南側火口壁の噴気孔において火災現象および赤熱現象が観測されました。火口内で発生した局所的な活動と考えられます。

二酸化硫黄の放出量は一日あたり 300 ~ 500 トンで前期間(2009 年 7 月、一日あたり 300 トン)と同様、少ない状態で経過しました。

中岳第一火口の湯だまりの量は 2007 年 10 月頃から緩やかな減少傾向が続いています。表面温度に大きな変化はありませんでした。

地磁気観測による火山体内部の熱の状況では、2006 年夏頃から、中岳第一火口北側に近い観測点で全磁力のわずかな増加がみられましたが、2008 年以降はその増加傾向は鈍化し、2009 年頃から熱活動の高まりを示す傾向は認められなくなりました。

その他の火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。ただし、火口内では火山灰や火山ガスの噴出が見られることから、火口内及びその周辺では火山灰の噴出等に警戒が必要です。また、火口周辺では火山ガスに対する注意が必要です。

桜島[火口周辺警報(噴火警戒レベル 3、入山規制)]

昭和火口では、6 月下旬から噴火活動のやや高まった状態が続いています。8 月は噴火が 71 回発生し、そのうち 53 回が爆発的噴火でした。4 日 21 時 25 分、27 日 02 時 59 分及び 28 日 20 時 51 分の昭和火口の爆発的噴火では、大きな噴石が 5 合目まで達しました。また、6 日 09 時 52 分の昭和火口の爆発的噴火では、火砕流が火口周辺にとどまる程度(昭和火口の東側約 200m の範囲)に流下し、10 日 10 時 36 分の噴火では、昭和火口の周辺(東側約 500m の範囲)に流下しました。また、昭和火口では夜間に高感度カメラで確認できる程度の微弱な火映が、時々観測されました。

南岳山頂火口では、ごく小規模な噴火が時々発生しました。

3日、大隅河川国道事務所の協力により行った上空からの観測では、昭和火口の形状が前回の観測（4月10日）と比べて、やや大きくなっていました。昭和火口の南東側には、爆発的噴火で噴出したとみられる噴石を複数確認されました。

桜島の直下にマグマが新たに移動、上昇したことを示す地殻変動は観測されていません。

国土地理院によるGPS連続観測では、始良カルデラ(鹿児島湾奥部)の地下深部へのマグマ注入によって考えられる長期的な膨張が継続しています。

昭和火口及び南岳山頂火口から2km程度の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。また、風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に、降雨時には泥流や土石流に注意が必要です。

薩摩硫黄島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

火山性地震はやや多い状態が続いています。

硫黄岳山頂火口の噴煙活動はやや活発で、噴煙の高さは火口縁上200～300mで推移しました。

3日、第十管区海上保安本部が実施した上空からの観測では、前回の観測（6月16日）と比べて硫黄岳山頂火口及び周辺の状況に大きな変化はありませんでした。

薩摩硫黄島では、硫黄岳山頂火口から概ね1kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるので、火口周辺では警戒が必要です。

口永良部島 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)] ← 8月4日に噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（平常）に引下げ

GPS連続観測では、2008年9月から続いていた新岳火口浅部の膨張を示す変化が2009年2月以降鈍化し、6月に入り認められなくなりました。また、火山性地震及び火山性微動は少ない状態が続いています。これらのことから、口永良部島では、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められなくなったと判断して、8月4日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（平常）に引下げ、火口周辺警報を解除しました。

火口内では噴気や火山ガスの噴出がみられることから、火口内等では警戒が必要です。

諏訪之瀬島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

御岳火口では小規模な噴火が断続的に発生し、そのうち爆発的噴火が25回発生しました。27日22時00分頃には、噴火に伴う振幅の大きな火山性微動が発生しました。28日に、京都大学及び気象庁機動調査班（JMA-MOT）が鹿児島県の協力により行った上空からの観測では、御岳火口の北西側に多量の火山灰が堆積しているのを確認しました。諏訪之瀬島では長期的にわたり噴火活動を繰り返しています。

火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いています。

諏訪之瀬島では、今後も御岳火口から約1kmの範囲に大きな噴石を飛散させる噴火が発生すると予想されるので、これらの地域では警戒が必要です。

（火山の順は活火山総覧（第3版）による）

資料１ 全国の火山の噴火警報及び噴火予報の発表状況のまとめ（平成 21 年 9 月 8 日現在）

（１）主な活火山

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
北海道地方	雌阿寒岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2008 年 9 月 29 日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008 年 10 月 17 日 噴火予報（平常） 2008 年 11 月 17 日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008 年 12 月 16 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009 年 4 月 10 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	十勝岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2008 年 12 月 16 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	倶多楽	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	有珠山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2008 年 6 月 9 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	恵 山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
東北地方	岩木山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	岩手山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	栗駒山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	吾妻山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	安達太良山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2009 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2009 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
関東・中部地方・伊豆・小笠原諸島	那須岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2009 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	草津白根山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2009 年 4 月 10 日 噴火予報（レベル 1、平常）切替
	浅間山	火口周辺警報 （レベル 2、火口周辺規制）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2008 年 8 月 8 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009 年 2 月 1 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2009 年 2 月 3 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2009 年 4 月 7 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
	新潟焼山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	御嶽山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2008 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	白 山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	富士山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	箱根山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2009 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	伊豆東部火山群	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	伊豆大島	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	三宅島	火口周辺警報 （レベル 2、火口周辺規制）	2007 年 12 月 1 日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008 年 3 月 31 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
	八丈島	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007 年 12 月 1 日 火口周辺警報（火口周辺危険）
	福徳岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007 年 12 月 1 日 噴火警報（周辺海域警戒）

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	九重山	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル１、平常）
	阿蘇山	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル１、平常）
	雲仙岳	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル１、平常）
	霧島山 （新燃岳）	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル１、平常） 2008年8月22日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年10月29日 噴火予報（レベル１、平常）
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル１、平常）
	桜 島	火口周辺警報 （レベル３、入山規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年2月3日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2008年2月20日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年4月8日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2008年7月14日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年7月28日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2008年8月28日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年2月3日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2009年2月19日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年3月2日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2009年3月10日 火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2009年4月24日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年7月19日 火口周辺警報（レベル３、入山規制）
	薩摩硫黄島	火口周辺警報 （レベル２、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制）
	口永良部島	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年1月25日 噴火予報（レベル１、平常） 2008年9月4日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年10月27日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2009年3月18日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年8月4日 噴火予報（レベル１、平常）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 （レベル２、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制）

注）噴火警報及び噴火予報の発表履歴欄には、平成 19 年 12 月 1 日の噴火警報及び噴火予報の発表と噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示す。
この表では、主な活火山として、警報を発表している、または連続的に監視を行っている火山を示している。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルである。

（２）その他の活火山

以下の活火山では平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表し、その後、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火 山 名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌブリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方 及び伊豆・小笠原諸島	高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、焼岳、アカンダナ山、乗鞍岳、利島、新島、神津島、御蔵島、青ヶ島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、西之島、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山